

- CSVファイルから特定の列の差分を抽出しTeamsに通知するツール
 - `model-teams+c.sh`
 - 1. 概要
 - 1.1 入力ファイル
 - 1.2 出力ファイル
 - 1.4 Teams 投稿イメージ
 - 2. 動作環境
 - 2.1 サーバー
 - 2.2 シェルとスケジューラーの実行ユーザー
 - 2.3 ファイルの保存場所とファイル名
 - 2.4 実施する内容
 - 2.5 実施しない内容
 - 2.6 シェルスクリプト
 - 3. スケジュール

CSVファイルから特定の列の差分を抽出しTeamsに通知するツール

`model-teams+c.sh`

1. 概要

毎週、特定の部門から関係者に届くメールに添付されているCSVファイルについて、1週間前のCSVファイルと差分を取り、新しく追加・削除・変更された列（例えば機種名と生産予定日）を抽出し、抽出結果をファイルに保存し、Teamsに投稿するツールです。

1.1 入力ファイル

- 入力ファイルは、約2500行X46列にわたるCSVファイル

- ファイルの例（H列に機種名、P列に生産予定日）

1.2 出力ファイル

- 以下の情報を記録した抽出結果ファイルを生成する
 - ファイル名は、`diff_result-YYYYMMDD.txt`
 - 差分対象ファイル
 - 最新と2番目に新しいCSVファイル
 - ファイル名の最後がModelで終わり、拡張子がcsvであること
 - （例）`20201109_Model.csv`
 - 追加・削除・変更された機種名と、生産予定日の数
 - 追加・削除・変更された機種名と、生産予定日の一覧
- 抽出結果ファイル（`diff_result-20201124.txt`）の出力例

```

\n\n■以下のファイルから機種名と生産予定日の差分を抽出しました
\n\n- 1 番新しい機種情報ファイル：20201124_Model.csv
\n\n- 2 番目に新しい機種情報ファイル：20201116_Model.csv
\n\n
\n\n■追加された機種数あるいは生産予定日の数：14
\n\n
\n\n■削除された機種数あるいは生産予定日の数：0
\n\n
\n\n■変更された機種数あるいは生産予定日の数：0
\n\n
\n\n■追加された機種名と生産予定日：
\n\n 機種名,生産予定日
\n\n- "AxxC-Axx01", "2021/3/25"
\n\n- "AGxxE2", "2021/3/25"
\n\n- "AGxxG2", "2021/3/25"
\n\n- "Fyyy70", "2020/11/15"
\n\n- "KEzzzAA40", "2021/02/01"
\n\n- "KEzzzAA40-1", "2021/02/01"
\n\n- "KEzzzA22", "2021/02/01"

```

```
\n\n- "KEqqqAA22","2021/02/01"
\n\n- "KEqqqAA28","2021/02/01"
\n\n- "KEqqqAA28","2021/02/01"
\n\n
```

- (注) Teamsに投稿するために改行コード\nをエスケープしていない

1.4 Teams 投稿イメージ

- 以下の内容を投稿する



The screenshot shows a Microsoft Teams chat window titled "新機種名情報" (New Machine Model Information). The message content is as follows:

新機種名情報（2020年11月24日）

- 以下のファイルから機種名と：生産予定日の差分を抽出しました
 - 1 番新しい 機種情報ファイル：20201124_Model .CSV
 - 2 番目に新しい 機種情報ファイル：20201116_Model .CSV
- 追加された機種数あるいは 生産予定日の数：14
- 削除された機種数あるいは 生産予定日の数：0
- 変更された機種数あるいは 生産予定日の数：0
- 追加された機種名と：生産予定日：

機種名	生産予定日
AGSC-AD101	2021/3/25
AGTJ50-L2	2021/3/25
AGDJ56UG2	2021/3/25
BUW070-KIT	2020/11/15
KES26AA140	2021/02/01
KES26AA140-1	2021/02/01
KES26AA224	2021/02/01
KES26AA224-1	2021/02/01
KES26AA280	2021/02/01
KES26AA280-1	2021/02/01
KES26AA335	2021/02/01
KES26AA335-1	2021/02/01
KES26AA450	2021/02/01
KES26AA450-1	2021/02/01

At the bottom of the message, there is a link labeled "簡易表示" (Simple Display).

- 変更点がある場合の表示について

12/02 11:14

「■変更された機種名と 生産予定日」の見方
(例1)

1	※ 変更前が先に、変更後が後に現れます
2	
3	● F28YCRV, 2021/02/22
4	● F28YCRV, 2021/02/24
5	
6	※ 機種名が同じで、 生産予定日が変わっています
7	

(例2)

8	● F28YCRV-T, 2021/02/22
9	● F28YCRV-W, 2021/02/22
10	● F28YCRV, 2021/02/22
11	● F28YCRV-T, 2021/02/25
12	● F28YCRV-W, 2021/02/25
13	● F28YCRV, 2021/02/24
14	
15	※ 8行目から10行目までが変更前、11行目から13行目までが変更後になります
16	※ いずれも機種名が同じで、 生産予定日が変わっています
17	

2. 動作環境

2.1 サーバー

- Linux(CentOS7)
- あらかじめWindowsのフォルダーZ:\model/を/mnt/z/modelフォルダーとしてマウントしておく

2.2 シェルとスケジューラーの実行ユーザー

- vuls

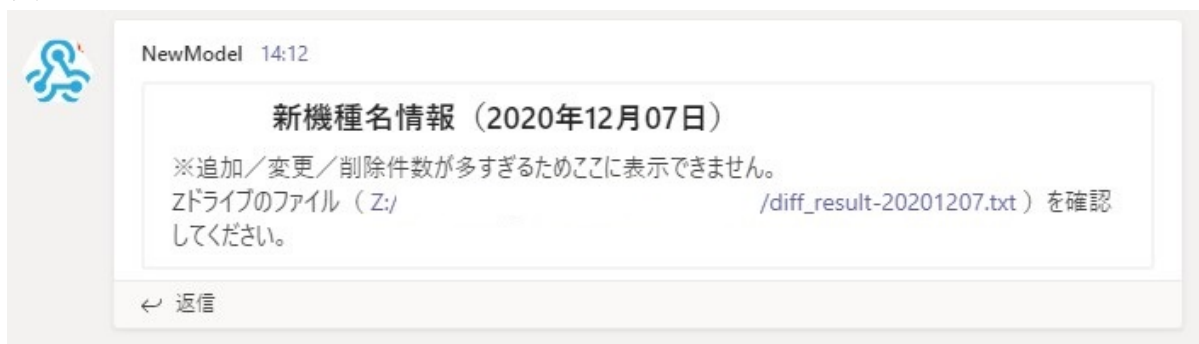
2.3 ファイルの保存場所とファイル名

- メール受信者は、スケジュール実行日時までに、メールに添付されているmodel機種情報ファイル(CSVファイル)をZドライブの以下のフォルダーに保存すること
- 保存先は、Z:\model (以下、modelフォルダーと呼ぶ)
- model機種情報ファイル名に関する制約
 - ファイル名の最後は、model、拡張子はcsvであること
 - (例) 20201109_model.csv
- シェルスクリプト
 - 実行ファイルであるシェルスクリプトmodel-teams+a.shの保存先は、/home/vuls/model/model-teams+a.sh
- 新機種名の抽出結果は、ファイルdiff_result-yyyyymmdd.txtに保存する
 - (例) 1番新しいmodel機種情報ファイルが、20201109_Model.csvのとき、結果ファイル名は、diff_result-20201109.txtとなる

- `diff_result-yyyyymmdd.txt`の保存先は、ZドライブのZ:\model\done

2.4 実施する内容

- `model`フォルダーに保存されている`model`機種情報ファイル群から、最新の2つのファイルを特定する
- 最新と2番目に新しいファイルについて、"機種名"と"生産予定日"の列を抜き出したリストを作る
- 2つのリストの差分をとる(A)
- 追加・削除・変更された機種数を数える(B)
- 追加・削除・変更された機種名と生産予定日のリストを作る(C)
- (A)(B)(C)を結果ファイル`diff_result-yyyyymmdd.txt`に保存する
- 保存したファイルの内容をTeamsに投稿する
- 追加／変更／削除件数が合わせて、150件以上ある場合は、その旨を通知する



2.5 実施しない内容

- 削除された機種の抽出
- 機種名に変更があった機種の抽出
- 複数の変更が連続する場合、変更があった順に、変更前後の内容を表示する（変更前の内容を順に表示してから、変更後の内容を順に表示する）

2.6 シェルスクリプト

- シェルスクリプトの抜粋`model-teams+c.sh`

```
# Teams 投稿用ファイルの作成
# -e 付けない（エスケープを解釈しない）、-n 最後の改行を出力しない
# echo -n "{\"title\": \"${TITLE} (${UPDATE_DATE}) \", \"text\": \"- 機種名, 生産予定日\" }\" > toTeams.json
# {"title": "model-新機種情報（20201116）", "text": "- 機種名, 生産予定日

echo -n "{\"title\": \"${TITLE} (${UPDATE_DATE}) \", \"text\": \"\" }\" >
toTeams.json
# {"title": "model-新機種情報（20201116）", "text":

# 追加・変更・削除の合計が多いときはメッセージ
if [ $(TOTAL_COUNT) -gt 150 ]; then
    # 多すぎます
    echo -n "※追加／削除／変更件数が多すぎるためここに表示できません。\\n\\nZドライブのファイル
（ [Z:/model/done/${DIFF_RESULT_Z_FILE}] (Z:/model/done/${DIFF_RESULT_Z_FILE}) ）
を確認してください"。 >> toTeams.json
else
```

```
# 整形
sed -e 's/\"\\\", \"\\\", /g' -e 's/\"//g' ${DIFF_RESULT_Z_FILE} | tr -d "\n"
>> toTeams.json
fi

# } 閉じ
echo "\"}" >> toTeams.json
# {"title": "model-新機種情報 (20201116) ", "text": "\n\n■以下のファイルから (中略) \n\n- AN22YVS-WA,2021/02/ 23\n\n"}

```

• Teams投稿部分の解説

- model機種情報ファイルからファイル名の先頭8文字を"yyyy年mm月dd日"に変換して変数 UPDATE_DATEに代入する
- 20201116が2020年11月16日となる

```
# csv to Teams Json
# 更新日
UPDATE_DATE=`date -d ${LATEST_DATE} "+%Y年%m月%d日"`

```

- curlコマンドでwebhookに投稿する文章をJson形式 (Teamsの制約あり) で作成する
- Teamsが受け取る (解釈できる) Jsonは、{"title": "...", "text": "..."}であり、{ }内は改行無しの1文で書く必要がある。
- 改行は\\nで渡す
- Markdownが使える
- curlコマンドで、投稿するデータ (-dオプション部分) をファイルから読み込むために、toTeams.jsonファイルを作成する
- タイトルは、キーが"title"、値"\$TITLE (\${UPDATE_DATE})"で、値は「model-新機種情報 (2020年11月16日)」に置換する
- "を\"でエスケープして与えるので、echoコマンドに-eオプションは使わない
- "text"部分を改行せずに連結するために、echoコマンドに-nオプションを使う

```
# -e 付けない (エスケープを解釈しない) 、-n 最後の改行を出力しない
echo -n "{\"title\": \"$TITLE (${UPDATE_DATE}) \", \"text\": \"\" }" >
toTeams.json

```

- 差分ファイル\${DIFF_RESULT_FILE}を、diff_result.txtに置換する
- diff_result.txtの内容

```

*** latest2.txt 2020-11-24 17:04:22.465585827 +0900
--- latest1.txt 2020-11-24 17:04:22.631585825 +0900
*****
*** 20,25 ****
--- 20,28 ----
    "Axx70X", "2020/09/25"
    "ACxx55X", "2020/09/25"
    "ACzz70X", "2020/09/25"
+ "ACqqq101", "2021/3/25"
+ "AGttt56", "2021/3/25"
+ "AGuuu56", "2021/3/25"
    "AJr22C", "2020/09/04"
    "AJr22F", "2020/12/22"
    "AJr25S", "2020/09/04"
*****
*** 1260,1265 ****
--- 1263,1269 ----
    "FUww40", "2020/11/15"
    "FUww50", "2020/11/15"
    "FUww60", "2020/11/15"
+ "FUww70", "2020/11/15"
    "FVpp27K", "2020/10/01"
    "FVpp27M", "2020/10/01"
    "FVpp27MA", "2020/10/01"
*****
*** 1585,590 ****

```

- 削除・変更された機種名と生産予定日に対応するために、diffコマンドのオプションを-u（ユニファイド）から-c（コンテキスト）に変更した
- JsonファイルtoTeams.jsonに追記する文を作成する
- grepの結果をパイプで、sedと、trに渡し、JsonファイルtoTeams.jsonに保存する
- trで、改行コードLF(\n)を削除し1文に整形している

```

# 整形
sed -e 's/\"\\\", \"\\\", /g' -e 's/\"//g' ${DIFF_RESULT_Z_FILE} | tr -d "\n"
>> toTeams.json

```

- grep '^+ \"' \${DIFF_RESULT_FILE} で、+ "から始まる行だけ抽出する
- 結果

```

+ "BA29A11", "2020/11/17"
+ "BA29A12", "2020/11/17"
+ "BA29A13", "2020/11/17"
+ "BA29A50", "2020/11/17"
+ "BA29A51", "2020/11/17"

```

```
+ "BA29A80", "2020/11/17"
...
```

- 先頭の+ "を\n\n- に置換する
- 改行コードは、エスケープするため\\nとなる
- Markdownを使うために改行コードは2つ必要
- -は、Markdownのリスト表示
- この結果をsed -e 's/\"\", \"\"/ \\", /g'で置換する
- sedを繰り返す際は、sedを省略し、-eで繰り返すことができる
- ここでは、機種名と生産予定日の間の,と"を,に置換する
- 結果

```
\n\n- BA249A11, 2020/11/17"
\n\n- BA249A12, 2020/11/17"
\n\n- BA249A13, 2020/11/17"
\n\n- BA249A50, 2020/11/17"
\n\n- BA249A51, 2020/11/17"
\n\n- BA249A80, 2020/11/17"
...
```

- さらに、この結果をパイプでsed -e 's/\"\"//g'に渡して文末の"を削除する
- 結果

```
\n\n- BA249A11, 2020/11/17
\n\n- BA249A12, 2020/11/17
\n\n- BA249A13, 2020/11/17
\n\n- BA249A50, 2020/11/17
\n\n- BA249A51, 2020/11/17
\n\n- BA249A80, 2020/11/17
...
```

- 最後に、1文にするために、この結果をパイプでtr -d "\n"に渡し、各行の文末にある改行コードLFを削除する
- 結果

```
\n\n- BA249A11, 2020/11/17\n\n- BA249A12, 2020/11/17\n\n-
BA249A13, 2020/11/17... \n\n- BA249A80, 2020/11/17
...
```


- 閉じカッコ}を追加する

```
# } 閉じ
echo "\"}" >> toTeams.json
```

- 結局以下の内容のデータができる
- 結果

```
{"title": "model-新機種情報（20201116）", "text": "\n\n■以下のファイルから（中略）\n\n- ANYVS123,2021/02/23\n\n（中略）- RXX805A, 2021/02/ 02"}
```

- Teamsへ投稿する

- -Xオプションを使って、クラウドプロキシを指定する
- -Hオプションを使って、ヘッダにJson形式を指定する
- POSTサブコマンドを使って投稿する
- -d@オプションを使って、投稿するデータをファイルtoTeams.jsonから読みだす
- \${model_URL}は投稿先のWebhookアドレス

```
# Teamsへ投稿
echo "Teams へ投稿します"
curl -x proxy.abcd.com:3128 -H "Accept: application/json" -H "Content-type: application/json" -X POST \
  -d @toTeams.json ${model_URL}
```

3. スケジュール

- 毎週火曜日の午後3時に、cronによるスケジュールを実施する
- スケジュールの保存場所とファイル名は、/var/spool/cron/vuls
 - 編集する場合は管理者(root)権限が必要
- cronの内容（最下行）

```
PATH=/sbin:/bin:/usr/bin:/usr/local/bin:/usr/local/sbin:/usr/sbin:/usr/local
/go/bin:/home/vulsgo/ bin:/usr/lib/jvm/java/bin:/opt/apache-tomcat/apache-
tomcat-7.0.50/bin:/home/vuls/.local/bin:home/
vuls/bin:MAIL=/var/spool/mail/vuls
# 分 時 日 月 曜日 コマンド
05 6 * * 1-5 /home/vuls/vuls-auto2.sh full diff > /var/log/vuls/vuls-
auto.log 2>&1
00 15 * * 1-5 /home/vuls/z-today-mail2.sh > /var/log/vuls/z-today-mail.log
2>&1
00 7 1 * * /home/vuls/Google/google_pwgen.sh >
```

```
/home/vuls/Google/log/google_pwgen.log 2>&1  
30 11 * * 1 /home/vuls/CACert/cacert-checkend.sh > /home/vuls/CACert/cacert-  
checkend.log 2>&1  
00 15 * * 2 /home/vuls/model/model-teams+c.sh > /home/vuls/model/model.log  
2>&1
```